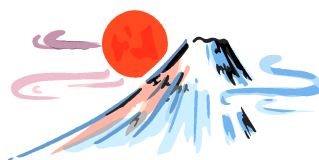




# 桑中学校だより 桑の樹



小山市立桑中学校  
令和7年度第9号  
R8. 1. 21  
校長 村石 直樹

2026年がスタートしました。2026年は<sup>うまどし</sup>午年ですが、<sup>うまどし</sup>午年は情熱や勢いが高まり、新しいことへの挑戦や大きな飛躍が期待できる年とされています。また、今年はミラノ・コルティナ冬季オリンピックが開催されたり、FIFAワールドカップがアメリカやカナダ、メキシコで開催されたりするなど大きなスポーツイベントも予定されています。このように2026年が活気に満ちた年となることを期待するとともに、生徒の皆さん一人一人がしっかりとした目標を立ててそれを実践し、大きく飛躍してくれることを期待しています。

## 生徒会役員紹介

12月に行われた生徒会役員選挙の結果から、令和8年の生徒会長と副会長は前回の学校だよりにてお知らせしましたが、その他の役職も右のように決まりました。

まずは2月末に行われる予選会を、3年生の思い出に残るものとなるよう、企画や運営等で頑張ってもらいたいと思います。よろしくお願いします。

|       |           |
|-------|-----------|
| 会 長   | I. A      |
| 副 会 長 | K. R、A. H |
| 書 記   | M. M、S. A |
| 会 計   | M. S、K. R |
| 会計監査  | I. A、I. M |

## 二十歳を祝う会

1月11日(日)、本校の体育館で「二十歳を祝う会」が行われました。久しぶりに会う友人との会話は楽しめたでしょうか。今年、「二十歳を祝う会」に出席した皆さんは中学2年生だった2月下旬、突然の学校休業の報道があり、その後分散登校をへて、ようやく3年生の6月から通常の登校がはじまりました。登校は始まったものの、部活動の大会やコンクール等も行われず、楽しみにしていた修学旅行も日帰りの旅行となってしまいました。このように過去に例のない中学校生活や高校生活等を送ったわけですが、今年の二十歳を祝う会の代表者のあいさつや多くの参加者の表情からは、そのような中にあっても前向きに、たくましく生活してきた様子をうかがい知ることができました。



今、世界は感染症だけでなく、温暖化や急激に進む技術革新やグローバル化などで「予測困難な時代」とも言われていますが、いかなる変化にも前向きに自分らしく対応し生活して行ってほしいと思います。

また、今年の会場の準備や片付けをしてくれたサッカー部、野球部、男女バスケットボール部、女子テニス部、陸上競技部、ソフトボール部の皆さん、ありがとうございました。

## 学校給食週間

1月24日から1月30日は全国学校給食週間です。本校では19日(月)から23日(金)が学校給食週間となりますが、給食委員会の皆さんを中心に、給食の始まりや学校給食の目的などを再確認し、給食の大切さについて改めて考えてもらえればと思います。

また、今年度は「全国の味めぐり」をテーマとして、各地の郷土料



理が給食で提供される予定です。とても楽しみです。 (写真は19日の山口県の郷土料理です。山口県のあとは新潟県、愛媛県、長崎県、神奈川県と続きます。)

なお、小山市では、学校給食の一部を給食レシピとしてクックパッドで紹介しています。興味がある方は右のQRコードよりご覧ください。



### 部活動、その他表彰

○男子バスケットボール部

U15後期リーグ 優勝

○女子バスケットボール部

U15後期リーグ 優勝

○卓球部

あすなる卓球大会 II部男子団体 準優勝

I部女子団体 第3位

II部女子団体 第3位

○バドミントン部

小山ライオンズ大会 男子団体 優勝



○平和ポスターコンクール

優秀賞 I. A

佳作 Y. M、I. A、U. M

○下野教育書道展

金賞 M. Y

銀賞 I. A

奨励賞 K. R、N. M、S. R

O. F、T. M、M. A

N. M、S. A、M. S

他、入選26名

### お知らせ

「地域子ども食堂『桑思桑愛』」と「学びの教室」の予定

|         | 日にち                                    | 時間          |
|---------|----------------------------------------|-------------|
| 地域子ども食堂 | 1月24日(土)                               | 12:00~14:00 |
| 学びの教室   | 1月31日(土)、2月7日(土)、<br>2月14日(土) ←今年度最終です | 13:00~16:30 |

### 今年の干支「午」にまつわる話

昔の日本では、1日を12の「刻」に分け、それぞれに十二支を割り当てて時間を数えていました。午前0時前後を「子の刻」とし、そこから2時間ごとに丑、寅…と進みます。すると、11時から13時が「午の刻」となり、その中心である12時を「正午」、それより前を「午前」、後ろを「午後」として



います。  
また、十二支は時刻だけでなく、方角も表します。北を「子」、南を「午」とし、この子と午を結ぶ線が「子午線」の語源となっています。